正に関する交換公文

(略称)オーストラリアとの航空協定付表修正取極

日本側書簡 ····································	下	
		平平平成成成成
		六 五年 五 年 五 月 月
		五七七月月月
		十二二 一十十 日日日
	ペ ジ	六年 五月 十一日 告示六年 七月 二十日 効力発生五年 七月 二十日 オャンベラで

表

(航空業務に関する日本国とオーストラリア連邦との間

の

協定の付表

の修正に関する交換公文)

訳 文

光栄を有します。 九百九十二年十二月八日から九日までの間東京においてオース 連邦と日本国との間 月十九日に東京で署名された航空業務に関するオーストラリア トラリア及び日本国 書 簡をもって啓上いたします。 の協定(以下「協定」という。)に関して千 の航空当局の間で行われた協議に言及する 本大臣は、千九百五十六年一

わって提案する光栄を有します。 表が次のとおり修正されるべき旨をオーストラリア政府に代 本大臣は、 前記の協議にお ٧١ て到 達した了解に従い、 協定 の

付 表

りとする。 日本国 の指定航空企業が両方向に運営する路線は、 次のとお

1 るオーストラリア内のその他の一地点のうち六地点 ス、アデレイド、ケアンズ、タウンズビル及び後に合意され 日本国内の地点-香港-マニラーインドネシア内の一地 1 ーウィ ンーシドニー、 メルボルン、ブリスベン、 パ 1 点

オーストラリアとの航空協定付表修正取極

(Australian Note

Canberra, July 20, 1993

Excellency,

January 19, 1956 (hereinafter referred to Japan for Air Services signed at Tokyo on between the Commonwealth of Australia and Australia and Japan concerning the Agreement consultations held in Tokyo on December 8-9, the "Agreement"). 1992 between the aeronautical authorities of I have the honour to refer to the Sp

the said consultations, I now have the honour be amended as follows: Australia, that the Schedule to the Agreement to propose, on behalf of the Government of Pursuant to the understanding reached at

Schedule

the designated airline of Japan shall be as Routes to be operated in both directions Уd

Adelaide, Cairns, Townsville, or one other either Sydney, Melbourne, Brisbane, Perth, point in Indonesia - Darwing - any six of point in Australia to l. Points in Japan - Hong Kong - Manila be agreed upon later

2 日本国内の地点ーグァムーシドニー

注 1 らないが、 略することが べての飛行に当たり当 業務は、 日本国の指定航空企業が前記 日本国の その路 できる。 領 線上の他の 域内の 該 指 定航空企業の 地点は、 地点を起点としなければ の路線において行う協定 ٧١ 選択によって ずれかの又は な 省 す

注 2 当局 報する。 ストラリア内の 日本国 に通知することにより、 その地点は、 の指定航空企業 地点をオー 九十日前にオーストラリアの航 は、 ストラリアの 変更することができる。 路線1にお いて選択 航 空当局に がする 诵

注 3 除くオーストラリア内の地点と路線1の中間地点と 日本国 第五 の自由の運輸権を行使してはならない。 の指定航空企業は、 ダーウィン及びシドニー の 間 を

注 4

日本国

の指定航空企業は、

日本国

|の航空当局が

特定

る途中降 るオーストラリア内の二地点の間において自己が運送す できる。 ア内で積み したオーストラリア内の二地点を随時変更することが オーストラリア内で積み込んだ貨客をオー 機の旅 卸 してはならない。日本国の航空当局は、 客について運輸権を行使する場 ・スト 合を除 ラリ 特

注 5

オーストラリア内で路線1に関して認められ

日本国の指定航空企業は、

同一の業務にお

た七地

合せの七以下の地点へも運航することが

については、

ていかなる組

Notes: ω • .~ Japan may change the two on board in Australia, except where it The designated airline of Japan shall other than Darwin and Sydney and any rights between any point in Australia not exercise fifth freedom traffic The designated airline of Japan shall change its selection. aeronautical authorities of Australia, giving 90 days notice to the referred to in route 1 and may, upon alternative points in Australia Australia of its selection of the The designated airline of Japan shall omitted on any or all flights. Australia thus specified Japan. stopover passengers between two points exercises traffic rights for its own not put down in Australia traffic taken in Australia which are to be specified intermediate point on route 1. inform the aeronautical authorities of aeronautical authorities of The aeronautical authorities of

ហ • airline of Japan shall be entitled to of its seven authorized points serve, on the same service, any number In respect of route 1, the designated

from time points in

ç

Points in Japan - Guam - Sydney.

option of the designated airline, be either of these routes may, at the territory of Japan, but other points routes shall begin at a point in the The agreed services provided by the designated airline of Japan on these 9

できる。

次のとおりとする。 ーストラリアの指 定航空企業が両方向に運営する路線は、

- 1 後に合意される日本国内のその他 東京、 イシアのサバ州又はラブアン島 i 大阪、 ストラリア内の地 名古屋、 福 岡、 点 ļ 長崎、 インド グァムー東京 内の一地点ー の一地点 鹿児島、 ネシア内の一地 のうち六地点 那 マニラー 覇、 札幌及 点 香港 ı 7 75 ī
- オーストラリア内の地点ー

2

注 1 の 点としなければならないが、 行う協定業務は、 選択によって省略することができる。 ずれかの又はすべての飛行に当たり当該 オ ーストラリアの オーストラリアの領域内の一地点を起 指 定航 空企業が その路線上の他 前記 の 指定航空企業 路 の地 線に 点 おお は、 v て

注 2 とにより、 その地点は、 択する日本国内の地点を日本国の航空当局に通報する。 オ ーストラリアの指定航空企業は、 変更することができる。 九十日前に日本国の航空当局に通知するこ 路線 1 におい . て選

注 3 輸 内 の オ 地点と路線1の中間地点との間 ーストラリアの指定航空企業は、 を行使してはならない。 可で、 東京を除く日本国 第五の自 由 の運

注 4 h だ貨客を日本国内で積み卸してはならない オ ーストラリアの指定航空企業は、 日本国内で 積み込

Australia and in any combination.

as follows: the designated airline of Australia shall be Routes to be operated in both directions by

- Naha, Sapporo, Osaka, Nagoya, Fukuoka, Nagasaki, Kagoshima, Manila - Hong Kong - any six of either Tokyo, Points in Australia - a point in Indonesia - point in Sabah or Labuan in Malaysia be agreed upon later. or one other point in Japan to
- Points in Australia Guam -Tokyo.

Notes:

- The agreed services provided by the designated airline of Australia on airline, be omitted on any or all at the option of the designated points on either of these routes may, the territory of Australia, but other these routes shall begin at a point in
- 2 giving 90 days notice to the aeronautical authorities of Japan, referred to in route 1 and may, upon of the alternative points in Japan authorities of Japan of its selection shall inform the aeronautical The designated airline of Australia its selection.
- Japan other than Tokyo and any traffic rights between any point shall not exercise fifth freedom The designated airline of Australia intermediate point on route 1.

ω

4 shall not put down in Japan traffic The designated airline of Australia taken on board in Japan.

注 5 は、 いてい 日本国 オー かなる組合せの六以下の地点へも運航することが ストラリアの指定航空企業は、 内で路線1に関して認められた六地点につい 同 一の業務にお て

注6 用を開始した後直ちに、 オーストラリアの指定航空企業は、 大阪への業務を開始することが 関西国際空港 が 供

できる。

できる。

す。 の返簡の日付の日に効力を生ずることを提案する光栄を有しま を両国政府間の合意を構成するものとみなし、

るものであるときは、

本大臣は、

更に、

前記の提案が日本国政府にとって受諾

ī

得

この書簡及び受諾を表明する閣下の返簡

その合意が閣下

敬意を表します。 本大臣は、 千 九百九十三年七月二十日にキャンベラで 以上を申し進めるに際し、 ここに閣下に向かっ 7

オ i 運 ストラリア 輸通信大臣 ボブ . コリンズ

オ 1 ストラリア駐在

日本国特命全権大使 長谷川和年閣下

- 5 Japan and in any combination. number of its six authorized points in to serve, on the same service, any airline of Australia shall be entitled In respect of route 1, the designated
- 6. becomes operational. commence services to Osaka as soon as The designated airline of Australia may the Kansai International Airport

an agreement between the two Governments which acceptance shall be regarded as constituting Excellency's Note in reply indicating such Government of Japan, I have further the honour to propose that this Note together with Your If the above proposal is acceptable to the

highest consideration. extend to Your Excellency Excellency's reply. shall enter into force on the date of Your I avail myself of this opportunity to tend to Your Excellency the assurances of my

(Signed) Minister for Transport and Communications Bob Collions

of Australia

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan Mr. Kazutoshi Hasegawa Excellnecy

訳文)

日本側書簡)

次の書簡に言及する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。 本使は、 本日付けの貴大臣

オーストラリア側書簡

を有します。 合意がこの返簡 びこの返簡が両 案を受諾する旨 本使は、 更に、 の日付の日に効力を生ずることを確認する光栄 国 を貴大臣に通報するとともに、 一政府間 日本国 「の合意を構成するものとみなし、 |政府がオーストラリア政府の前記の提 貴大臣の書簡及 その

敬意を表します。 本使は、 以上を申 し進めるに際し、 ここに貴大臣に向かって

千九百九十三年七月二十日にキャンベラで

オーストラリア駐在

日本国特命全権大使 長谷川和年

オ ーストラリア

輸通信大臣 ボ マブ・ コリンズ閣下

オーストラリアとの航空協定付表修正取極

(Japanese Note)

Canberra, July 20, 1993

の

today's date, which reads as follows: I have the honour to refer to your Note of

(Australian Note) "

shall be regarded as constituting an agreement confirm that your Note and this Note in reply proposal of the Government of Australia and to that the Government of Japan accepts the above between the two Governments, which shall enter into force on the date of this reply. I have further the honour to inform you

consideration. extend to you the assurances of my highest I avail myself of this opportunity to

(Signed) and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary Kazutoshi Hasegawa to Australia

and Communications of Australia Minister for Transport Senator the Hon. Bob Collins

(参考)

一二七〇号参照)の付表を修正するものである。 この取極は、昭和三十一年に発効したオーストラリアとの航空協定(現行条約集覧及び条約集第

三四